

## 1. サービス仕様

本サービスは、Google LLC が提供する統合 API プラットフォーム製品である Apigee Edge をベースとしたサービスです。契約番号に対して複数の Organization（組織）を利用することができます（Organization（組織）は、本サービスの管理単位です）。1つの組織に対して、テスト向け、本番向けの2つの Environment（環境）を利用することができます。

契約者は、1つの組織について別表1記載のプランから1つのプランを選択するものとし、以下の機能のうち当該プランにおいて提供される機能を利用できるものとし、なお、契約者が設定した API Proxy をバックエンドサービスに接続するアプリケーションが呼び出すことを「コール」というものとし、本サービスの利用料金はコールの数量に応じて当社から別途提供される料金表のとおり定められるものとし、

### (1) ゲートウェイサービス

Web アクセスが可能なアプリケーションを、他のアプリケーションから接続するための機能を以下のとおり提供します（ゲートウェイサービスを通じて接続される Web アクセスが可能なアプリケーションを、以下「バックエンドサービス」という）。

#### ① APIs

バックエンドサービスの API の構成管理および開発を支援するための機能を提供します。

##### i. API Proxies

契約者は、所定の情報を入力することで、API Proxy（バックエンドサービスと、バックエンドサービスに接続されるアプリケーション間の処理を実行するサービスの単位をいう）を作成し、ポリシーおよびフローを設定することができます。契約者は、作成した API Proxy をテスト向けまたは本番向けの Environment に配備し、また、API Proxy が処理するリクエストやレスポンス等の動作を可視化して表示するトレース機能を利用することができます。

##### ・ポリシー

契約者は、API Proxy に、以下のとおりポリシーを設定することができます。

ポリシーの種類	説明
TRAFFIC MANAGEMENT (トラフィック制御ポリシー)	バックエンドサービスへのリクエスト件数や同時接続件数の制限および所定の情報や処理の結果のキャッシュとしての保存等を設定できます。
SECURITY (セキュリティポリシー)	バックエンドサービスの API へのアクセス認証および XML 形式や JSON 形式のメッセージの送受信への制限の追加等を設定できます。
MEDIATION (仲介型ポリシー)	バックエンドサービスと、バックエンドサービスに接続されるアプリケーション間でメッセージの送受信を行う際のフォーマット変換等を設定できます。
EXTENSION (拡張用ポリシー)	所定の条件に応じて JavaScript や外部のサービスの実行およびデータの収集および保存等を設定できます。

##### ・フロー

契約者は、API Proxy にフローを設定することで、ポリシーの実行タイミングを制御することができます。

##### ii. Environment Configuration

バックエンドサービスからのレスポンスや任意のデータ等、API Proxy のトラフィック制御ポリシーで扱うキャッシュの分類を作成できます。

#### ② Publish

バックエンドサービスの API を、1つ以上の API Proxy のグループ（以下「API Product」という）を通して本番向けの Environment で利用できるようにするための機能を提供します。

##### i. Product

API Product を作成することができます。API Product に対しては、一括でポリシーやフローを設定することが可能になります。

ii. Developer

任意の人を、Developer として登録できます。

iii. Developer Apps

バックエンドサービスと接続されるアプリケーション、1人の Developer および1つ以上の API Product の組合せに対して、固有の API Key を生成することができます。Developer をこれにより生成された APIKey を利用してバックエンドサービスにアクセスさせることで、バックエンドサービスに接続する Developer を特定したり、Developer ごとにアクセスを制限することができます。

③ ゲートウェイ拡張機能

ゲートウェイサービスの拡張機能を提供します。

i. 独自ドメインでのAPI 公開

契約者の独自ドメインでAPI を公開できます。

ii. 公開 API の接続制限

公開した API に対して、アクセス元 IP アドレスを制限することができます。

iii. Java 機能

EXTENSION (拡張用ポリシー) の一つとして、Java アプリケーションを呼び出して実行する機能を提供します。

(2) アナリティクスサービス

・ Analytics

API トラフィックの情報を集計・解析し、モニタリングすることで、以下のとおり API Proxy や Developer の利用状況やパフォーマンス等を解析できます。各提供プランに基づき利用可能な機能については、別表 1 をご参照ください。

解析パターン	説明
Proxy Performance	API Proxy のトラフィック量と平均応答時間をグラフ化します。
Target Performance	全バックエンドサービスへのトラフィック量とリクエストの成功・失敗件数、応答時間、レスポンスの成功・失敗件数、ペイロードサイズをグラフ化します。
Cache Performance	トラフィック制御ポリシーを通じて処理されたキャッシュヒット率や件数、応答時間をグラフ化します。
Latency Analysis	API Proxy の応答時間や、バックエンドサービスの応答時間をグラフ化します。
Error Analysis	API Proxy が処理するリクエストおよびレスポンスで発生したエラーの情報 (件数やステータスコード等) をグラフ化します。
Developer Engagement	Developer の人数やアクセス状況、トラフィック量、エラー率をグラフ化します。
Traffic Composition	API Proxy、API Product、Developer、アプリケーションのトラフィック量 Top10 をグラフ化します。
Business Transactions	指定した URI で特定されるバックエンドサービスへのトラフィック量、平均応答時間、エラー率、通信量 (リクエストとレスポンスのデータサイズ合計) をグラフ化します。
Devices	API Proxy に対するアクセス元のデバイス情報 (プラットフォーム、エージェント、デバイスタイプ、OS 種別等) をグラフ化します。
Custom Reports	縦軸 (Metrics) および横軸 (Dimensions) 、ならびに統計期間を所定の項目から自由に選択して、情報をグラフ化します。

(3) ユーザー管理機能

・ Admin

ユーザー (本サービスが提供する機能を利用したり、資源を管理したりする「人」を表します) を登録し、またユーザーごとにロールを指定することで、以下の機能に対するアクセス権限を設定できます。

- APIs の API Proxies と Environment Configuration
- Publish の Product と Developers Apps
- Analytics の Custom Reports

初期設定として以下のデフォルトロールを指定できます。

デフォルトロール	説明	
User	全て利用可能な機能	API Proxy のポリシーとフローの設定、API Proxy のトレース機能

		テスト向け Environment への API Proxy の配備
	参照のみ利用可能な機能	本番向け Environment への API Proxy の配備、Publish、Analytics
	利用できない機能	Environment Configuration、Admin
Business User	全て利用可能な機能	API Proxy のトレース機能、テスト向け Environment への API Proxy の配備、Publish、Analytics
	参照のみ利用可能な機能	API Proxy のポリシーとフローの設定、本番向け Environment への API Proxy の配備
	利用できない機能	Environment Configuration、Admin
Operations Administrator	全て利用可能な機能	API Proxy の配備、API Proxy のトレース機能
	参照のみ利用可能な機能	API Proxy のポリシーとフローの設定、Publish、Analytics
	利用できない機能	Environment Configuration、Admin
Organization Administrator		全ての機能を利用可能

デフォルトロールに加え、任意にアクセス権限を設定したロールを新規に作成することができます。

#### (4) バックエンドセキュア接続機能

契約者がバックエンドサービスを独自の環境に構築する場合において、バックエンドサービスを DMZ に配備することなく本サービスに接続させることができます。接続形態として以下の 3 つの方法があります。

- ・ FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud Digital enhanced Exchange (DEX) によるバックエンドセキュア接続 (注 1)
- ・ IPsecVPN 機能によるバックエンドセキュア接続 (注 2)
- ・ FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS ネットワーク RBAC 機能によるバックエンドセキュア接続 (東日本リージョン 3、西日本リージョン 3、マルチリージョンのみ) (注 3)

バックエンドセキュア接続では、接続したネットワーク環境に対して API を公開することができます。また、本機能のオプションとして、DNS 機能を提供します。DNS 機能により、API 公開時に必要となる FQDN の名前解決を行うことができます。

#### (5) WebAPI

本サービスのうち、以下について WebAPI で実行できます。

- ① ゲートウェイ拡張機能およびバックエンドセキュア接続機能における SSL 証明書の一覧取得、アップロード、エクスポート
- ② アナリティクスサービスの詳細データその他蓄積データの取得

#### (6) マルチリージョン

契約者は、本サービスについて東日本リージョン 3 および西日本リージョン 3 によるマルチリージョンの形態での利用を選択することができます。

## 2. 提供条件

- (1) 契約者は、API Proxy を通して送受信されるデータについて、当社が本サービスの提供のために受信、保存、処理および利用することを許諾するものとします。
- (2) 契約者は、バックエンドサービスの API および API Proxy のアクセス制御および管理について責任を持つものとします。これらが第三者に使用されたことにより契約者または第三者に生じた損害について、当社は何ら責任を負わないものとします。
- (3) 本サービスを構成するソフトウェアは適宜更新されることがあり、当社が事前の通知なく修正ソフトウェアを適用することを契約者は了承するものとします。
- (4) 本サービスを構成するソフトウェアは Google LLC およびそのライセンサーに権利が帰属するものであり、当社

は Google LLC の許諾に基づき本サービスを提供しています。したがって、契約者が本サービスの利用に関して利用規約に違反した場合、Google LLC が契約者に対して利用規約に基づく権利を当該許諾の範囲内で契約者に直接行使する場合があります。契約者はこれに同意するものとします。

- (5) 契約者は、本サービスの利用に関して、一切の請求または問い合わせを Google LLC に対して直接行なってはならないものとします。
- (6) 本サービスへのログイン方式は、ワンタイムパスワード認証（以下「OTP 認証」という）と ID/パスワードを組み合わせた二段階認証とします。

### 3. 提供リージョン

本サービスは、以下のリージョンで提供されます（各リージョンの提供プランおよび利用可能な機能については、別表 1 をご参照ください）。

- ・東日本リージョン 1
- ・東日本リージョン 3
- ・西日本リージョン 3

### 4. 制限事項・注意事項

- (1) 本サービスで利用できる Environment に API Proxy を配備することにより、API Proxy はインターネットに公開された状態となります。契約者は、API Proxy のアクセス制御および管理ならびにその他セキュリティ全般について単独で責任を負うものとします。
- (2) 独自ドメインで API を公開するには、DNS サーバへの CNAME の設定（独自ドメインを当社ドメインに向ける設定）が必要です。なお、HTTPS にて API を利用する場合は、SSL 証明書を WebAPI を使ってアップロードする必要があります。
- (3) OTP 認証の利用にあたり、契約者は以下の条件に同意するものとします。
  - ① OTP 認証用アプリケーション（以下「OTP 認証アプリ」という）には Google Authenticator を使用します。OTP 認証アプリをインストールする携帯端末機器等は契約者が用意するものとし、また、契約者の携帯端末機器等への OTP 認証アプリのインストールは、契約者が自らの責任で行うものとします。
  - ② OTP 認証アプリをインストールしたことに関連する不具合に関して、当社は一切責任を負わないものとします。
  - ③ OTP 認証アプリが認証できないことまたは正しく動作しないことなどの不具合により本サービスへログインできない場合、当社は一切責任を負わないものとします。

### 注釈

- 注1. DEX（クロスコネクト for FJcloud-O）を別途利用して接続する方法です。DEX における接続情報を別途取得する必要がありますので、利用にあたっては、事前にヘルプデスクにご連絡ください。なお、別途、書面による DEX の申込が必要です。  
※クロスコネクト for FJcloud-O に関しては、100Mbps ベストエフォート、100Mbps 帯域確保のみ対応していません。
- 注2. FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS の IPsec VPN 機能を別途利用して接続する方法です。IPsecVPN 機能における設定情報を別途取得する必要がありますので、利用にあたっては、事前にヘルプデスクにご連絡ください。
- 注3. FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS ネットワーク RBAC 機能を利用して接続する方法です。ネットワーク RBAC 機能における設定情報を別途取得する必要がありますので、利用にあたっては、事前にヘルプデスクにご連絡ください。

以 上

別表 1

## ■ 提供プラン

## ・ 東日本リージョン 1

提供プラン 利用可能な機能		基本構成		ゲートウェイ拡張構成		バックエンドセキュア接続構成	
		Pro ※3	Standard	Pro ※3	Standard	Pro ※3	Standard
			3M/10M/20M		3M/10M/20M		3M/10M/20M
(1)ゲート ウェイサ ービス	①APIs	○	○	○	○	○	○
	②Publish	○	○	○	○	○	○
	③ゲートウェイ拡張機能	—	—	○	○	○	○
(2)アナリ ティクス サービス	Proxy Performance	○	○	○	○	○	○
	Target Performance※1	○	○	○	○	○	○
	Cache Performance※1	○	—	○	—	○	—
	Latency Analysis	○	○	○	○	○	○
	Error Analysis※1	○	○	○	○	○	○
	Developer Engagement※1	○	—	○	—	○	—
	Traffic Composition	○	○	○	○	○	○
	Business Transactions	—	—	—	—	—	—
	Devices	○	○	○	○	○	○
	Custom Reports	○	—	○	—	○	—
	(3)ユーザー管理機能	○	○	○	○	○	○
(4)バックエンドセキュア接続機能	—	—	—	—	○	○	
(5)WebAPI ※2	○	○	○	○	○	○	

## ・ 東日本リージョン 3、西日本リージョン 3、マルチリージョン

提供プラン 利用可能な機能		基本構成		ゲートウェイ拡張構成		バックエンドセキュア接続構成	
		Standard		Standard		Standard	
		3M/10M/20M		3M/10M/20M		3M/10M/20M	
(1)ゲート ウェイサ ービス	①APIs	○		○		○	
	②Publish	○		○		○	
	③ゲートウェイ拡張機能	—		○		○	
(2)アナリ ティクス サービス	Proxy Performance	○		○		○	
	Target Performance※1	○		○		○	
	Cache Performance※1	△		△		△	
	Latency Analysis	○		○		○	
	Error Analysis※1	○		○		○	
	Developer Engagement※1	△		△		△	
	Traffic Composition	○		○		○	
	Business Transactions	—		—		—	
	Devices	○		○		○	
	Custom Reports	△		△		△	
	(3)ユーザー管理機能	○		○		○	
(4)バックエンドセキュア接続機能	—		—		○		
(5)WebAPI ※2	○		○		○		

○：利用可能

△：フルアナリティクスオプション（※3）（※4）で利用可能

－：利用不可

- ※1. 各 Pro のプランまたは各 Standard のプランのフルアナリティクスオプション選択時は、API の 1 リクエストにつき 1 件取得するログ（以下「詳細データ」）を生成可能です。詳細データの保持期間は 3 か月であり、保持期間を経過した詳細データは削除され、復旧することはできません。
- ※2. 基本構成ではアナリティクスサービスのデータ取得 API のみ実行可能です。
- ※3. 各 Pro のプランから各 Standard のプランへ変更する場合または各 Standard のプランのフルアナリティクスオプションの利用を停止する場合、アナリティクスサービスの詳細データその他蓄積されたデータは当該変更または停止時に削除され、復旧することはできません。
- ※4. フルアナリティクスオプションは東日本リージョン 3、西日本リージョン 3 およびそれらのマルチリージョンでのみ提供されます。フルアナリティクスオプションは各 3M/10M/20M のプランに対応するオプションを選択する必要があります。

■ 同一リージョン内およびマルチリージョン内における各プラン間の変更可否

・ 東日本リージョン 1

変更先プラン 変更前プラン	基本構成 Pro	基本構成 Standard 3M	基本構成 Standard 10M	基本構成 Standard 20M	ゲートウェイ拡張構成 Pro	ゲートウェイ拡張構成 Standard 3M	ゲートウェイ拡張構成 Standard 10M	ゲートウェイ拡張構成 Standard 20M	バックエンドセキュア接続構成 Pro	バックエンドセキュア接続構成 Standard 3M	バックエンドセキュア接続構成 Standard 10M	バックエンドセキュア接続構成 Standard 20M
基本構成 Pro		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
基本構成 Standard 3M	○		●	●	×	×	×	×	×	×	×	×
基本構成 Standard 10M	○	●		●	×	×	×	×	×	×	×	×
基本構成 Standard 20M	○	●	●		×	×	×	×	×	×	×	×
ゲートウェイ拡張構成 Pro	×	×	×	×		○	○	○	×	×	×	×
ゲートウェイ拡張構成 Standard 3M	×	×	×	×	○		●	●	×	×	×	×
ゲートウェイ拡張構成 Standard 10M	×	×	×	×	○	●		●	×	×	×	×
ゲートウェイ拡張構成 Standard 20M	×	×	×	×	○	●	●		×	×	×	×
バックエンドセキュア接続構成 Pro	×	×	×	×	×	×	×	×		○	○	○
バックエンドセキュア接続構成 Standard 3M	×	×	×	×	×	×	×	×	○		●	●
バックエンドセキュア接続構成 Standard 10M	×	×	×	×	×	×	×	×	○	●		●
バックエンドセキュア接続構成 Standard 20M	×	×	×	×	×	×	×	×	○	●	●	

●：変更可能（本サービスポータルより申込）

○：変更可能（ヘルプデスクへ問合せ）

×：変更不可

・東日本リージョン3、西日本リージョン3、マルチリージョン

変更先プラン	基本構成 Standard 3M	基本構成 Standard 10M	基本構成 Standard 20M	ゲートウェイ拡張構成 Standard 3M	ゲートウェイ拡張構成 Standard 10M	ゲートウェイ拡張構成 Standard 20M	バックエンドセキュア接続構成 Standard 3M	バックエンドセキュア接続構成 Standard 10M	バックエンドセキュア接続構成 Standard 20M
変更前プラン									
基本構成 Standard 3M		○	○	×	×	×	×	×	×
基本構成 Standard 10M	○		○	×	×	×	×	×	×
基本構成 Standard 20M	○	○		×	×	×	×	×	×
ゲートウェイ拡張構成 Standard 3M	×	×	×		○	○	×	×	×
ゲートウェイ拡張構成 Standard 10M	×	×	×	○		○	×	×	×
ゲートウェイ拡張構成 Standard 20M	×	×	×	○	○		×	×	×
バックエンドセキュア接続構成 Standard 3M	×	×	×	×	×	×		○	○
バックエンドセキュア接続構成 Standard 10M	×	×	×	×	×	×	○		○
バックエンドセキュア接続構成 Standard 20M	×	×	×	×	×	×	○	○	

○：変更可能（ヘルプデスクへ問合せ）

×：変更不可

以上

附則（2021年10月1日）

本サービス仕様書は、2021年10月1日から適用されます。

附則（2022年4月1日）

本サービス仕様書は、2022年4月1日から適用されます。

附則（2022年4月20日）

本サービス仕様書は、2022年4月20日から適用されます。

附則（2022年8月1日）

本サービス仕様書は、2022年8月1日から適用されます。

附則（2022年9月15日）

本サービス仕様書は、2022年9月15日から適用されます。